沖縄県民の命を危険にさらし、墜落と死の恐怖の押し付けを許さない

オスプレイの普天間基地への配備中止を求める請願

内閣総理大臣　野田佳彦様

【請願要旨】

日米両政府は、沖縄県宜野湾市の普天間基地に 7 月中にも米海兵隊の垂直離着陸機ＭＶ22 オスプレイを強行配備しようとしています。

オスプレイは開発段階から、何度も墜落事故を繰り返し 30 人が死亡。実践配備されてからも 2010 年にアフガンで墜落し、4 人が死亡。本年 4 月にはモロッコで墜落し、2 人が死亡。さらに 6 月には米国で墜落し、5 人が負傷。まさに世界で最も危険な軍用機です。

沖縄では、県知事の反対声明をはじめ、県議会、県内の全ての 41 市町村議会での配備反対決議世論調査での 9 割の反対。まさに「オール沖縄」で県民の命を守るために配備に反対しています。

世界一危険な普天間基地に、墜落事故を繰り返す欠陥機を配備することは、「沖縄県民の命を危険にさらし、墜落と死の恐怖を押し付ける」暴挙であり絶対に許されません。

私たちは、日本政府が沖縄県民の命を虫けら同然に扱おうとすることに強い怒りをこめて、下記の項目の実現を強く求めます。

【請願項目】

日本政府は、沖縄県民の命を危険にさらし、墜落と死の恐怖を押し付ける、普天間基地へのオスプレイの配備をただちに中止すること

氏　　名	住　　所

取り扱い者【　　】

第1次集約７月 15 日（日）　第2次集約８月 31 日（金）　問い合わせ：電話０９０－３９１０－４１４０（沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック）